

アイラブつくばまちづくり補助事業（令和８年度（2026年度）第２回申請分）審査結果

No.	過去交付 決定回数	申請事業名	申請団体	代表者	交付申請額 (円)	交付決定額 (円)	事業内容	担当課
1	0	離婚と子どもサポート事業	一般社団法人おやこリンクサービス（略称：おやこリンク）	新川 てる江	113,000	113,000	離婚後の親子関係のあり方について、一人で子育てをするひとり親が健全な心理状態で子育てができる社会を目指し、情報提供と居場所づくりを行う。離婚を考えている人やひとり親家庭とその支援者を対象に、２月にセミナーやワークショップを開催する。特に、2026年4月より法施行された「共同親権」についても講義を行い、啓発活動に努める。	こども政策課
2	0	つくばユースフォーラム2027	つくばユースフォーラム実行委員会（略称：TYF実行委員会）	一丸 綾子	283,000	150,000	「ユースが変われば未来が変わる」という理念のもと、若者が自らの価値や可能性、社会における役割に気づき、地域社会の担い手として成長する機会の創出を目的とし、企画・運営から当日の進行までをつくば市在住の高校生・大学生が主体となって担う「若者による、若者のため」のフォーラムを２月に行う。	生涯学習推進課
3	0	つくば市ボランティア団体 持続化支援講座 ～人・資金・後継者を育てる「逆算」の考え方～	特定非営利活動法人自分らしく生きる支援ネットつくば(略称：NPO法人いばつく)	吉原 将行	258,000	100,000	つくば市内のボランティア団体や市民協働団体を対象に、自律的な継続を阻む最大の要因である「資金不足・担い手不足」を持続可能な仕組みづくりによって根本から解決し、団体の自立・成長できる体制構築の支援を目的として、計12回の講座を行う。資金循環、組織の自動化、世代交代をスムーズにする透明な運営基盤を設計させることで、長く活動を継続できるようサポートする。	つくば市民センター
4	0	おでかけどんぐりのぬいぐるみ劇場	おでかけどんぐり（略称：どんぐり）	山本 紀子	161,000	161,000	乳幼児親子が安心して集い、保護者同士や地域とのつながりを育むことで、子育て世代の孤立予防と地域の支え合いの基盤づくりを目的として、乳幼児と保護者を対象とした人形劇を２回行う。人形劇という文化活動を通じて、保護者の孤立防止と親子の豊かな育ちを支え、子どもの成長を見守る環境づくりに貢献する。	こども政策課
5	0	大人のための宇宙開発講座	スペースアドバイザーグループ	吉田 和雄	225,000	100,000	宇宙開発に強く関心・興味を持つ方を対象とした、宇宙開発に関するテーマの講座と参加者を交えた懇談を行う。テーマ毎に専門的知識・経験を持つ講師が補助を務める。講座の情報や懇談を基に、宇宙開発に強く関心を持つ方や企業された方の一助となり、市のスーパーサイエンスシティ構想の取組に貢献する。	科学技術戦略課
6	1	つくば撮影体験観光推進PV製作	Film&Travel.agcy.	藤島 正朗	270,000	50,000	近年、拡大している「ハレの日撮影需要」を市内ロケーションで行う。市民・事業者・来訪者が広く活用できる「撮影観光資源」として可視化・PRするPVを製作し、家族写真層・フォトウェディング層・コスプレ撮影層など多様な層をつくば市へ誘客することで、持続的な観光消費の拡大と、着地型観光による「飲食・宿泊・体験消費」といった地域経済全体の活性化を目的とする。	観光推進課
7	0	はたのわ ～つくば市周辺地域で、旗を立てる人たちのつながり～	はたのわ	竹内 利枝	300,000	150,000	R8をはじめとする周辺地域で活動する人々が緩やかにつながり、みんなの力で発信していくことを目的として、10月にマルシェやワークショップ、地域紹介を行うイベントを開催する。民間の立場だからこそできる地区横断的なネットワーク「はたのわ」を立ち上げ、周辺地域の魅力・文化・人をアピールするイベントを開催する。	周辺市街地振興課
8	0	六所茅葺きワークショップ	筑波山麓グリーン・ツーリズム推進協議会	榎田 智司	300,000	200,000	筑波山麓の豊かな地域資源や人材を活かし都市農村交流を促進することで、耕作放棄地の活用や地域の里山文化の継承を図り、筑波山麓地域の活性化に寄与することを目的として、グリーン・ツーリズムのプログラムの開発と試行(モデル活動)および情報発信を行っている。六所地区の象徴的な景観である茅葺き建物の勉強会、茅葺きの手伝い、茅刈りといった一連の取り組みを通じて、景観資源を次世代へ継承する。	農業政策課

アイラブつくばまちづくり補助事業（令和８年度（2026年度）第２回申請分）審査結果

No.	過去交付 決定回数	申請事業名	申請団体	代表者	交付申請額 (円)	交付決定額 (円)	事業内容	担当課
9	2	つくばの魅力探究★ 研究学園ロゲイニング～知る・歩く・つながる研究学園～	つくば市谷田部地区 区会連合会・研究学 園支部(略称:研究学 園支部)	仲村 健	300,000	300,000	「知る・歩く・つながる研究学園」をテーマとした「学びのあるロゲイニング」を11月に実施する。研究学園エリアの公園カルテや緑のワークショップとの連携を図り、単なるナビゲーションスポーツイベントではなく、地域資源を学びながら歩くプログラムとする。公園、緑地、グリーンインフラ、防災、地域の歴史や自然などを実際に歩いて学ぶことで、地域資源の価値を再発見するとともに、市民・大学・学校・行政が協働して地域の未来を考える機会を創出する。	公園・施設課
10	0	ウクライナ人と共に、 戦禍について考えよう！	ひまわりとさくらの会	ユリヤ クル ヴィツカ	59,000	59,000	ウクライナに興味がある方々を対象として、ウクライナを研究している教授や研究員、留学生からの歴史・文化・宗教・国民性に関する情報提供と、参加者を交えた議論を行う。戦争の有事がもたらす戦禍について、つくば市民自らが考え意識を高めることで、多文化共生での理解を広げていく。	国際都市推進課
11	2	地域猫活動普及啓発 事業～ねこと、暮らす 展2026～	一般社団法人ネコス ペ事務局（略：ネコ スベ事務局）	大塚 美幸	140,000	140,000	飼い主のいない猫による地域課題の解決を目指し、TNR(捕獲・不妊去勢手術・元の場所へ戻す)活動や地域猫活動を推進している。その中で、TNRや地域猫活動についての正しい知識や支援制度が市民に十分に周知されていない現状改善のため、保護猫アート展「ねこと、暮らす展」を入口として幅広い市民の来場を促し、TNRパネル展示や相談会を通じて地域課題への理解と適切な対応方法の普及を図る。	環境保全課
12	0	つくばこそだてパーク 2026	つくばこそだてパーク 実行委員会	矢生 秀仁	229,000	229,000	遊びや対話の交流を通して、親子および子育てを支える地域住民のつながりを育むことを目的とし、市内の親子や子ども団体を対象としたイベントを10月に行う。親子が自由に滞在できる交流型イベントとして、遊び体験ブース、子ども団体による出展、実践者・専門家による講座、座談会企画等を実施し、子どもたちが主体的に遊び育つことの大切さと、子育てについて保護者が語り合えるつながりをつくる。	こども政策課
13	0	記憶をなぞる身体～ つくばの石の伝説を 巡る市民ワーク ショップと映像・写真 展示～	G-ray	鈴木 亮祐	194,000	150,000	つくばの土地の記憶や伝説を題材とした市民参加型の身体ワークショップを計5～6回開催し、市民が地域の伝説を自らの身体感覚を通して学び直す、新たな郷土学習と表現体験の場を提供する。最終的に市内の文化施設において、参加者による成果発表パフォーマンスを行うことで、つくばの文化的な魅力を共有する場を創出し、「文化芸術によるまちづくり」の推進に寄与する。	芸術文化推進課
14	0	住民交流ツール“けんがく トレカ”事業	けんがくトレカプロ ジェクトチーム	鈴木 ゆうか	198,000	198,000	研究学園駅周辺地域において、住民同士の交流や住民と地域店舗・企業をつなぐ新しいコミュニケーションの場を創出し、地域コミュニティの活性化に寄与することを目的として、地域トレーディングカード「けんがくトレカ」を企画・制作・配布し、それをツールとした交流の場を企画運営する。トレカの収集や交換を通じた自然な会話(交流)により、住民が主体的に地域を知ろうとするきっかけと持続可能な地域コミュニティを生み出し、ソーシャルキャピタルを醸成する。	市民協働課
15	0	きょうだい児とその 家族を支える地域づ くり事業	特定非営利活動法人 かけはしねっと	根本 希美子	300,000	200,000	医療的ケア児の健やかな成長のため、療養生活全般に関する情報の交換・連絡を図ることを目的として、医療的ケア児やきょうだい児本人を含むその家族等を対象に、11月に支援シンポジウム、2月に支援者育成研修を行う。きょうだい児の存在と支援の必要性について広く理解を図り、家庭環境に関わらず子どもが子どもらしく過ごし、家族が安心して暮らすことができる地域づくりを目指す。	障害福祉課